KUFS, Innovation and You

”京都外国語大学とイノベーションとあなた”

2026年4月1日

北　寿郎
Toshiro KITA

イノベーションとは？



Joseph Schumpeter(1883～1950）

- 技術革新や先進的な研究開発ではない
- 既存の資源の新結合による新たな価値の創造
- イノベーションが創造的破壊を実現し、経済や企業を発展させていく
- イノベーションを担う人材がアントレプレナー

アジェンダ

イノベーションに関わる3つのストーリー

① Birds in Hand

② Strong Ties and Weak Ties

③ Copy or Steal

自己紹介

北　寿郎（きた　としろう）

1952年1月生まれ　74歳　愛知県名古屋市出身
名古屋大学大学院　機械工学専攻　工学博士
同志社大学名誉教授

1976.4～2004.3：NTT
- 磁気ディスクの研究開発
- 知能ロボットの研究開発
- テレビ会議システムの開発と事業化
- 自然言語処理やAI技術の研究開発
- 住基ネットの構築

2004.4～2022.3：同志社大学大学院ビジネス研究科
- イノベーション・マネージメント
- ビジネスにおける良心
- 研究科長も経験

2014.6～2022.6：株式会社ナカヨ（旧ナカヨ通信機）独立社外取締役

① Birds in Hand

なにかを始める時に自問すべきこと

- 私は何を持っているか？：資源、能力、特徴
- 何を知っているのか？：知識、趣味、教養
- 誰を知っているのか？：社会的ネットワーク

これらを組み合わせれば、何ができそうか？

何かを始める時には

- 将来の大きな目標から逆算するのではなく、いま自分の“手の中”にあるものから始めよう

- 将来なりたい自分が決まっていなくても大丈夫。いまの自分が“持っているもの”から、大学生活は始められる

Who I am : 自分は何者か

- どんな性格？
- 何が好き？苦手？
- どんなことにワクワクする？

例 :
「人の話を聞くのが好き」
「海外に興味がある」
「コツコツ型」

What I know：何を知っているか

- 得意な科目
- 興味のある分野
- これまでの経験（部活・留学・趣味など）

例：
「英語が好き」
「動画編集を少しやったことがある」
「ボランティア経験がある」

Who I know：誰を知っているか

- 友人
- 先輩
- 先生
- 家族
- 地域や海外の知り合い

例：
「留学経験のある先輩」
「外国人の友人」
「地域活動をしている人」

3つを組み合わせると何が？

- Who I am : 人と話すのが好き
- What I know : 英語が好き
- Who I know : 留学生

👉 できること

- 国際交流イベントの運営に関わる
- 留学生と日本人をつなぐ役割を担う

あなたはどちら？

- 将来の夢を決めてから、大学生活を設計しなきゃ
- いまの自分でできることをやってみたら、あとから“道”や“夢”が見えてくる
- 3番目の”Copy or Steal”のストーリーにも関係しています

皆さんへの提言

❌ よくある悩み
- 将来の夢が決まっていない
- 何を目標にすればいいかわからない

✅ Birds in Hand的な考え方
- 英語が好き → 留学生と話してみる
- 人と話すのが好き → 学内イベントに参加してみる
- 海外に興味 → 留学説明会に行ってみる

👉 小さな一歩でOK
👉 その一歩が、次のチャンスを連れてくる

大切なポイント

- 立派な夢は不要
- 完璧な計画も不要
- いまの自分 × 小さな行動で十分

■「できること」は、最初から見えていない
■動いたあとに、見えてくる

Birds in Handのまとめ

”未来は、計画してから始まるのではなく
現在の自分が動いた結果として生まれる“

- 大学生活は、完成した地図をなぞる旅ではありません。手の中の小さな鳥を大切にしながら、道をつくっていく旅です

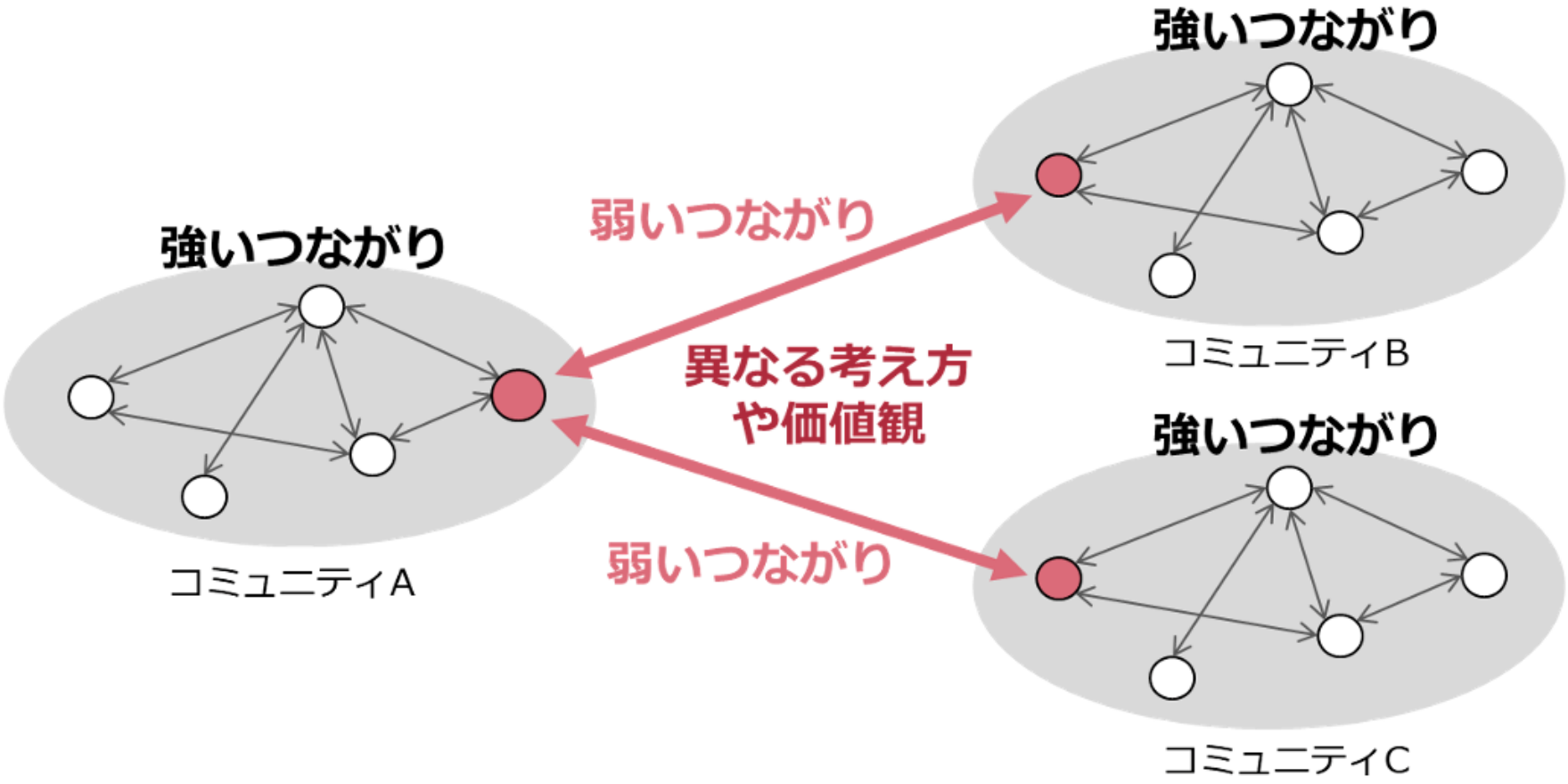
② Strong Ties and Weak Ties

■ 人とのつながり（紐帯）が、未来を広げる

■ 2つの種類のネットワーク

- Strong Ties：強い紐帯
  家族、親友、気心の知れた仲間、会社の同僚
- Weak Ties：弱い紐帯
  友人の友人、先輩・後輩、ちょっとした知り合い
  初対面の人

Strong Ties and Weak Ties



https://praise-card.com/column/250519-2/

Strong Ties：強い紐帯

- Strong Ties ：あなたを支えてくれる存在
  - 困ったときに相談できる
  - 失敗したときに励ましてくれる
  - 自分をよく理解してくれている

- 大学生活を「続ける力」をくれるのが、Strong Ties です

Weak Ties：弱い紐帯

変化・偶然・飛躍の力

- あなたに新しい世界を運んでくる存在です。
  - 自分の知らない情報
  - 思いもよらないチャンス
  - これまで出会わなかった価値観

- 就職・留学・研究テーマ・人生の転機（チャンス）の多くは、それほど親しくなかった人からもたらされます。

Strong /Weak Tiesのまとめ

“人生を支えるのは Strong Ties
人生を広げるのは Weak Ties”

- Strong Ties を大切にしながら、Weak Ties を恐れずに世界へ踏み出してください
- それが、大学生活を予想もしなかった未来につなげる方法です

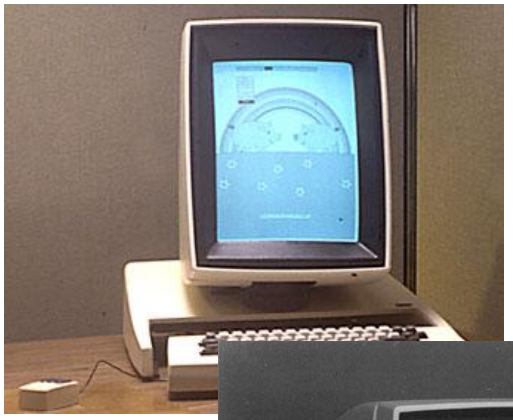
③ Copy or Steal

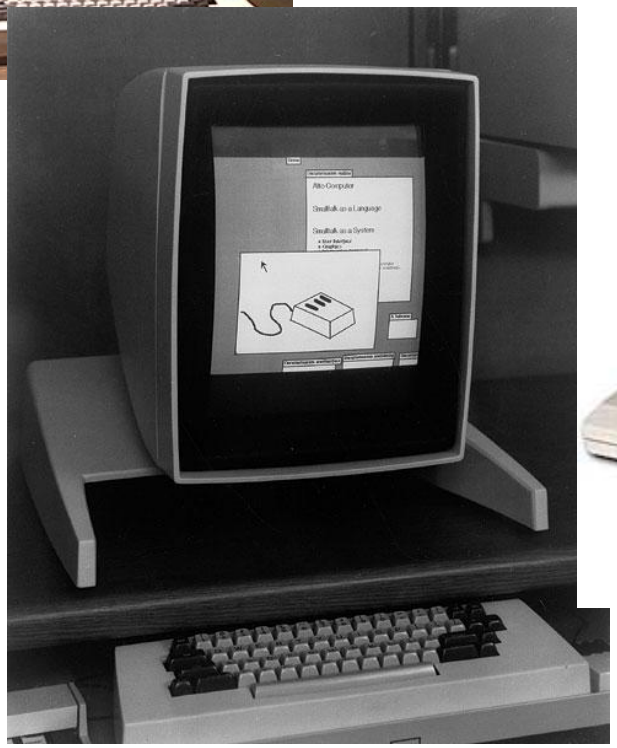
全ては”模倣“から始まる

- Picasso said "Bad artists copy. Good artists steal.“
- T.S. Eliot said exactly same thing; “Immature poets imitate; mature poets steal.”
- When Steve Jobs quoted it during a 1996 PBS documentary Triumph of the Nerds, he quoted "Good artists copy. Great artists steal.“

何故、Jobsはこんなことを言ったのでしょうか？

Alto and Macintosh







MacIntosh

- 1979年、ジョブズはXerox PARCを訪問
- そこには、Altoがありました
  - マウス
  - グラフィカル・ユーザー・インターフェース（GUI）
  - 画面上のアイコンやウィンドウ操作
- Xerox PARCの研究者を引く抜きMacを発売

⇒コンピュータの専門家はMacをAltoのコピーと非難

Jobsの反論

- 2005年の米国スタンフォード大学卒業式でのJobsのスピーチ
  - 大学時代に学んだカリグラフ
    ⇒美しい文字組み・フォントをMacに採用
- XeroxPARCの技術 × Jobsの美意識＝ Macintosh
- Good artists copy. Great artists steal.
  - Bill Gate　　: Good artist
  - Steve Jobs　: Great artist

Copy or Stealのまとめ

“皆さん、安心してください
最初は、真似していい
でも、真似だけで終わらないでください”

- 模倣は基礎を学ぶ段階
- その上で、自身のオリジナリティを積み上げて、新しい価値を生み出していってください
- KUFSはそのお手伝いをします

皆さんがKUFSでできること

① Birds in Hand
→ ”いまの自分で世界に向き合う“

② Strong / Weak Ties
→ “言語を学び、人と人をつなぐ”

③ Copy or Steal
→ “他者から学び、盗み、自分の強みにする”

PAX
MUNDI
PER
LINGUAS

ご清聴ありがとうございました